



芳藻

Contents

2024年度第1学期 卒業証書・学位記授与式 P 1
謝辞 卒業生代表 P 1
2024年度第2学期 入学者の集い P 2
「学生生活の葉」・「利用の手引き」について P 2
学習相談日 P 3
ゼミナール P 3
『持続可能な社会の創り手を育てる』 客員教授 中澤 静男 P 5
学生研修旅行に行ってきました P 6
2024年度第2学期 通信指導・単位認定試験について P 7
2024年度第2学期 Web単位認定試験体験会について P 8
Web単位認定試験システム利用方法〈体験版〉 P 9
2025年度第1学期 科目登録について P 10
各種手続き等について P 11
公開講演会のお知らせ P 13
研究成果発表会のお知らせ P 13
他大学図書館利用カードの受取について P 13
視聴学習・図書室からのお知らせ P 14
キャンパス・スケジュール(12月~3月) P 15

◇奈良学習センター開所時間◇

受付	曜日	利用時間
事務室(事務窓口)	火曜日~日曜日	9:30~12:00、13:00~17:50
視聴学習・図書室	火曜日~日曜日	9:30~17:30 (12時~13時の間、受付業務を中止させていただきます。)

◆大切なお知らせ◆

2024年度は、紙媒体の機関誌の発行(自宅へ郵送)は9月、3月です。
 5月、11月発行の機関誌は奈良学習センターウェブサイトからご覧ください。
 2025年度からは、紙媒体での発行は廃止します。ペーパーレス化にご協力ください。



2024年度 第1学期 卒業証書・学位記授与式

9月29日(日)、「2024年度第1学期 卒業証書・学位記授与式」を放送大学奈良学習センター(奈良女子大学コラボレーションセンターZ308講義室)にて挙行了しました。

第1学期卒業生21人のうち、11人が出席され、岩永学長からのメッセージに続き、井上所長より卒業証書・学位記が授与されました。また、所長による式辞に続き、来賓代表として奥田同窓会会長より祝辞が述べられました。その後、記念撮影、懇話会が行われました。



2024年度第1学期
奈良学習センター 卒業生 21名

《教養学部》

生活と福祉コース	6名
心理と教育コース	7名
社会と産業コース	3名
人間と文化コース	3名
情報コース	2名

謝辞

卒業生代表 教養学部 情報コース 柴田 敬子

秋の気配も遅く毎日厳しい残暑が続きますが、今日卒業を迎えることができました。

学習センター所長より卒業証書学位記を授与され、胸に嬉しさが込み上げてまいりました。また、井上所長、奥田同窓会会長より祝辞をいただきありがとうございました。諸先生方のご指導、学習センター所長、職員の皆様にお礼申し上げます。

私は2001年に入学、コースを決めずただ一科目から始め、2年度から徐々に増やしながらか進んできました。特に面接授業ではたくさんのお話を学び楽しく面白く勉強ができたのです。

そしてそのときから数えて22年間、「光陰矢の如し」の言葉どおり早く去りながらも楽しく学生生活を送ってきました。

奈良学習センターを始め、京都、大阪、兵庫、滋賀等と旅行気分家族の協力を得ながら勉強に頑張ってきました。

ある書物の中に次の言葉が書いてあり、それは「自分の意思ははっきりと相手に伝えなければいけない」「～したいこと、～して欲しいこと」などを示すことが大事との内容を読み、早速私も面接授業を希望し「平城宮跡」のフィールドワークに参加ができたのです。それには先生はじめ職員の方の協力のおかげがあったからです。

他の面接授業において諸先生方、学生の方との交流を交え、ワークショップ、コミュニケーション活用しながら私自身このように見聞を広め、好奇心を多く持ち、目標を探し、前に向かって進んでいくことを思いながら、これからの人生明るく過ごしていきます。

最後になりましたが、先生方、所長、同窓会会長、職員の皆様のご活躍とご健康をお祈りいたします。

2024年度 第2学期 入学者の集い

9月29日（日）、「2024年度第2学期入学者の集い」を放送大学奈良学習センター（奈良女子大学コラボレーションセンターZ308講義室）にて挙行了しました。

岩永学長からのメッセージに続き、井上所長からの挨拶、奥田同窓会会長の祝辞、中澤隆先生、駒谷昇一先生、お二人の客員教員の挨拶に続いて、客員教員の紹介、オリエンテーション、サークル紹介などが行われました。

なお、2024年度第2学期の入学者数は、学部124人、大学院4人で、在学者数は以下のとおりです。



2024年度 第2学期 奈良学習センター在学者数（総計762人）

教養学部	全科履修生	選科履修生	科目履修生	特別聴講学生	計
	508	106	68	48	730
大学院	博士全科生	修士全科生	修士選科生	修士科目生	計
	1	2	24	5	32

「学生生活の葉」・「利用の手引き」について

皆さんがお持ちの「学生生活の葉」と「利用の手引き」は、放送大学で学ぶに当たって、その方法、留意事項、諸手続きをはじめ、学習センターの利用方法、課外活動等について記載しています。必要な事項をお読みいただき、勉学を進めるうえで疑問な点が生じたときにも随時ご参照ください。



ウェブサイトからもご確認いただけます。



学習相談日

(出勤日順)

職名	教員名	専門	出勤日	時間
所長	井上 容子	建築・住環境工学	事前に事務室へ予約の上、所長室へお越しください。	
客員教授	中澤 隆	生物有機化学	火曜日	10:00~12:30
客員教授	菊崎 泰枝	食品化学	火曜日	13:30~16:00
客員教授	中澤 静男	教育学 (ESD、SDGs)	水曜日	9:30~12:30
客員教授	駒谷 昇一	教育工学・情報システム学	水曜日	13:00~16:00
客員教授	市来 百合子	臨床心理学	木曜日	9:30~12:30
客員教授	杉本 一樹	日本古代史学	木曜日	13:30~16:30
客員教授	宮川 久美	国語学	金曜日	10:00~13:00
客員教授	岡本 彰夫	神道学	金曜日	13:30~16:30

※客員教員の学習相談の場所は、客員教員・相談室です。

実施方法：対面式 対象者：放送大学の在学生

※事前の相談申込は必要ありませんが、特に予約相談を希望される場合は事務室へご連絡ください。

※ゼミナール実施日は学習相談に応じられない場合がありますのでご了承ください。

ゼミナール

2024年度 第2学期からゼミナールの受講申し込み方法が変更になりました

実施方法	講義室で対面式により実施します。
定員	各ゼミナール30名程度まで（おひとりで複数のゼミナールに参加申し込みすることも可能です） ※申込者多数のゼミナールが生じた場合、抽選により参加者を決定する場合があります。
受講対象者	放送大学の在学生または所長の許可を得た者
申込方法	希望する各客員教授のゼミナール 実施日の3営業日前までに 「ゼミナール受講申込用紙」を事務室窓口に提出、または電話でお申し込みください。FAXで申し込みはできません。

●注意事項：

- ・半年間を受講期間として受講申込を受け付けます。お申し込みの際、翌月以降のご意向を併せて確認させていただきます。その際に翌月以降の参加を申請（申し込み）された方については、申請分については再度お申し込みをしていただく必要はありません。
- ・ゼミナール配付資料等の準備のため、申込締切日以降は受け付けしません。
- ・欠席等をされる場合は、事務室へお申し出ください。
- ・欠席に伴い、資料の取り置きを希望される場合は、必ずご連絡ください。
- ・資料のみの配布や欠席が続く場合の資料の取り置きは、受け付けしません。
- ・無断欠席が学期内3回となった学生は、来学期のゼミナールの受講はできません。

★ゼミナールの案内は、毎月15日頃に翌月実施する内容を奈良学習センターウェブサイトまたは奈良学習センター掲示板にて周知します。

閉所日・祝日等の都合により、掲載日が前後する場合があります。ご了承ください。

★ゼミナールの日程や講義室が変更になる場合があります。奈良学習センターウェブサイトや学内の掲示板をご確認ください。

★入学検討中の方も参加可能ですので、学生のみなさまのお友だちやお知り合いなどで放送大学に入学をお考えの方がいらっしゃれば、ぜひお誘いください。



ゼミナール 開催日程・テーマ等《12月～3月》（予定）

都合により変更する場合がありますので、奈良学習センターウェブサイトや学内掲示板を必ずご確認ください。

講師	専門	開催日時		テーマ
井上 容子 (所長)	建築・住環境工学	12/3 (火)	10:30～12:00	視環境の調整 (8) 夜の光環境と睡眠
		1/7 (火)		視環境の調整 (9) 一日を通じた照明
		2/4 (火)		視環境の調整 (10) 季節に応じた照明
		3/4 (火)		適正な視環境とは
中澤 隆 (客員教授)	生物有機化学	12/17 (火)	10:30～12:00	タンパク質の科学と医学・薬学
		2/18 (火)		タンパク質の科学と人文・社会科学
		3/18 (火)		これからのタンパク質の科学の行方
菊崎 泰枝 (客員教授)	食品化学	12/24 (火)	14:00～15:30	ポリフェノールの生体調節機能
		2/25 (火)		ポリフェノールと腸内細菌叢
		3/25 (火)		ポリフェノールと疫学研究
池原 健二 (元所長)	生命科学	12/4 (水)	13:30～15:30	GADV 仮説の要点: tRNA の起源
		1/8 (水)		GADV 仮説の要点: 遺伝子の起源 *第1水曜日は祝日のため第2水曜日に変更
		2/5 (水)		生物進化の不思議: 進化の不可逆性
		3/5 (水)		生命についての謎を解く
中澤 静男 (客員教授)	教育学 (ESD、SDGs)	12/11 (水)	10:30～12:00	E S D for 2030ロードマップに学ぶ
		2/12 (水)		E S Dにおける脳科学の援用 ソマティック・マーカー仮説
		3/12 (水)		社会教育におけるE S D: 奈良SDG s 学び旅について
駒谷 昇一 (客員教授)	教育工学・ 情報システム学	12/18 (水)	14:00～15:30	情報ビジネス (3Dプリンタの事例)
		2/19 (水)		情報ビジネス (遠隔監視、トレーサビリティの事例)
		3/19 (水)		情報ビジネス (情報ビジネス企業の今後と求められる人材像)
杉本 一樹 (客員教授)	日本古代史学	12/5 (木)	14:00～15:30	正倉院文書に近づく (36) 正倉院文書と今年注目される木簡
		2/6 (木)		正倉院文書に近づく (37) さまざまな仕事の工夫 (近時の発見にふれて)
		3/6 (木)		正倉院文書に近づく (38) 本年度を振り返って
市来 百合子 (客員教授)	臨床心理学	12/26 (木)	10:30～12:00	心理臨床における非言語的アプローチ(3)
		2/27 (木)		心理臨床における非言語的アプローチ(4)
		3/27 (木)		心理臨床における非言語的アプローチ(5)
宮川 久美 (客員教授)	国語学	12/13 (金)	10:30～12:00	正倉院文書を読む (41) 続々修18ノ3第28紙の冒頭部
		2/14 (金)		正倉院文書を読む (42) 続々修18ノ3第28紙の真ん中あたり
		3/14 (金)		正倉院文書を読む (43) 続々修18ノ3第28紙の後ろの方
岡本 彰夫 (客員教授)	神道学	12/6 (金)	14:00～15:30	大和まだある記 (大和のくらし②) *都合により第1金曜日に変更
		2/28 (金)		大和まだある記 (大和のいのり①)
		3/28 (金)		大和まだある記 (大和のいのり②)

持続可能な社会の創り手を育てる

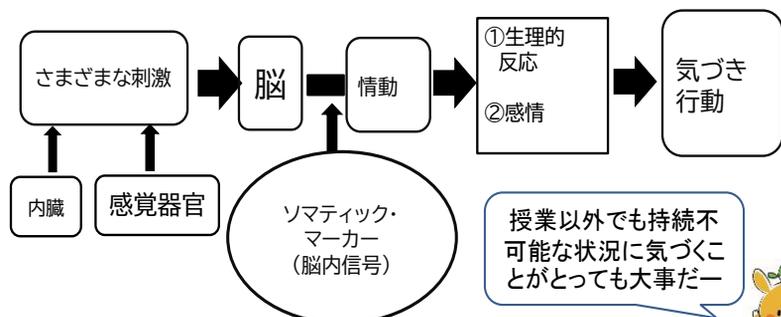
客員教授 中澤 静男

今年の夏も暑かった、危険な暑さの毎日でした。昨年開催されたCOP28の報告書には2011年～20年が記録上「最も暑い10年」で、特にこの10年間の世界の平均気温は産業革命前の水準より1.1度高く、これまでのどの10年間よりも暑かったと述べています。また、9月にはニューヨークで気候野心サミットが開催されましたが、その中でグテーレス国連事務総長は「人類は地獄の門を開けてしまった」と、今まで通り何も行動を起こさないことがもたらす悲惨な結果について厳しい警告を発しています。

日本では全国の学校教育の基準を定めた学習指導要領において、「持続可能な社会の創り手の育成」が定められ、すべての幼稚園～高等学校において、取り組みが進められています。私が研究しているのがこの持続可能な社会の創り手を育てる教育で、ESD (Education for Sustainable Development) と呼ばれます。ESDとこれまでの教育の大きな違いは、従来の教育は「理解する」ことを目的としていましたが、行動を起こさないことには地球環境は改善されません。ESDは行動の変革を促すところに違いがあります。また、ESDは環境教育とも違います。環境課題の解決は重要ですが、それだけでは持続可能な社会は実現できません。国際平和や貧困問題など、課題は山積しています。それらの解決を目標に掲げたのがSDGs (持続可能な開発目標) です。SDGsについては皆さんもご存じだと思いますが、SDGsの達成だけでは持続可能な社会は実現できません。SDGsには大きな欠落があります。それは核兵器です。SDGsの前身であるMDGs (ミレニアム開発目標) には大量破壊兵器の廃絶が明記されていましたが、SDGsにはそれが見当たりません。9カ国が合計で12000発あまりの核弾頭を保有しています。アメリカ、ロシア、中国、北朝鮮が保有しており、日本は核兵器に取り囲まれているといっても過言ではありません。そのわりに我々日本人の多くは関心が薄いようです。毎日暑い暑いと言いながら、CO2の排出量を少なくしようとしている人もわずかです。なぜ行動化しないのでしょうか。それを脳科学から研究し見つけたのが、アメリカの脳科学者であるアントニオ・R・ダマシオが提唱するソマティック・マーカー仮説です。

ソマティック・マーカーとは脳が特定の刺激を受けた際に発せられる「脳内信号」で、人間を含むすべての動物がソマティック・マーカー発生装置を脳内に持っていると言っています。ソマティック・マーカーは生き残る確率を高めるための信号です。敵や災害など危険が迫っているときにはネガティブ信号を、水やエサが近くにある時にはポジティブ信号を発することで、生き残る確率を高めています。高いところに行くと足がすくむのもソマティック・マーカーの影響です。ご馳走を見るとおなかが減ってくるのもソマティック・マーカーの影響です。でも、最近の日本人はソマティック・マーカー発生装置が弱くなっているのではないかと心配しています。

ソマティック・マーカー装置を鍛えるためには、どのような教育に取り組みばよいのでしょうか。それが私にとって一番の課題です。



ソマティック・マーカー仮説(筆者作成)



学生研修旅行に行ってきました



9月8日（日）、京都御所・京都迎賓館への学生研修旅行を実施し、学生20名、杉本客員教授、井上所長、職員2名の計24名が参加しました。

往路バス車中にて杉本客員教授の学習ポイントの解説を受け、京都御所では古代以来の日本宮殿建築の歴史と文化を学び、京都迎賓館では現代日本の最高峰の建築・美術工芸品を間近に見学でき日本文化の粋を感じることが出来ました。当日はプレミアムガイドツアー日で普段は非公開の2部屋も見学でき好評でした。

自己紹介や臨地学習などで学生相互及び教員との親睦・交流も深まり充実した意義ある研修旅行となりました。



集合写真



京都御所



京都迎賓館

参加学生の感想（一部抜粋）

- ・例年になく厳しい残暑の中、研修旅行に参加させていただきました。昨年に引き続き2度目の参加、以前から行きたかった「京都迎賓館」楽しみでした。余りの暑さに御所は割愛させていただきましたが、日本の伝統技術の集大成とも言える迎賓館の美しさ、完成度に大変感動しました。来年もまた違う趣向の研修旅行、体調を整えてぜひ参加させていただきたいと思っています。（S・M）
- ・京都迎賓館では建築技術、照明、庭園など全て日本の伝統芸術の極みを集め、現代的なデザインでもてなしの館となっている事に感動しました。日本の文化が精神性も含め現代の名工達に伝承されていると感銘を受けました。また私は長い間放送大学で学んでいますが、ひとり学習でした。バスの中で何コースも卒業している人が沢山いる事にびっくり。自分も言い訳をせず少しずつでも学び続けることが大切であると思いました。（M・T）
- ・京都御所では大河ドラマ「光る君へ」の舞台を彷彿とさせる清涼殿等の建物を興味深く拝見し、平安時代末頃の天皇、貴族による祭事の現場を垣間見たように思います。京都迎賓館ではガイドさんの説明でおもてなしの日本の心の真髓を教えられました。大滝を望む「滝の間」や首脳会談も行われた「水明の間」も特別に見学できて良かったです。9月なのに地球沸騰を思わせる暑い中での見学会でしたが、充実した有意義な1日でした。（I・M）

2024年度 第2学期 通信指導・単位認定試験について

○通信指導 2024年度 第2学期から通信指導は原則Web提出となります！

ご注意
ください

1. 実施方法

「Web通信指導による提出」を基本とし（問題冊子の送付はありません）郵送提出科目のみ「郵送提出」により実施します。

履修科目の通信指導問題は10月上旬に授業共有ファイル（システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル）にアップロードされますので、ダウンロードすることで、提出期間前でも問題の閲覧が可能です。

◆Web通信指導による提出

・自宅などから、インターネットを通じてWeb学習指導システム通信指導にアクセスし、問題閲覧、解答提出を行います（評価対象となる解答は1回目の提出のみです）。

・科目ごとに「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の）併用式」のいずれかの形式で出題されます。

※Web提出が困難な方は、「学生生活の葉p.65 Web通信指導による提出が困難な場合」をご確認ください。

◆郵送による提出（郵送提出科目のみ）

・10月下旬から11月上旬ごろ大学本部から送付される通信指導問題冊子・マークシート・返送用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。（提出方法の詳細は問題冊子等に同封します）

・対象科目

市民自治の知識と実践（'21）／日本政治思想史（'21）／文学批評への招待（'18）

日本美術史の近代とその外部（'18）／空間と政治（'22）

2. 提出期間

Web : 2024年11月7日（木）10:00～11月28日（木）17:00

郵送※ : 2024年11月14日（木）～11月28日（木）必着

※郵送提出科目、Web通信指導による提出が困難な場合に限りです。

○単位認定試験

1. 実施方法（Web試験）

・インターネットを通じ「Web単位認定試験システム」にアクセスして受験します。

・試験期間中は自宅等から24時間いつでも受験できます。

・1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能）

・出題形式は「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の）併用式」

●択一式問題：選択肢をクリックすることで解答します。

●記述式問題：解答記入欄に文字入力することで解答します。

2. 郵送試験を実施する科目（4科目のみ）

・「行政学講説（'24）」（記述式）、「正多面体と素数（'21）」（記述式）、

「日本美術史の近代とその外部（'18）」（記述式）、「量子化学（'19）」（併用式）

・1月上旬ごろ大学本部から送付される問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。

・試験時間の制限は行いません。提出期間内に解答を作成し、提出してください。

3. 試験日程

Web試験（試験期間）	択一式科目	2025年1月19日（日）9:00～1月27日（月）17:00
	記述式・併用式科目	2025年1月19日（日）9:00～1月23日（木）24:00
郵送試験（提出期間）	すべての出題形式	2025年1月19日（日）9:00～1月23日（木）《必着》

自宅等でのWeb受験が困難な場合について

自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン・スマホ・タブレット等電子機器の操作が困難等の事情により、自宅等でのWeb受験が困難な方は受験場所を学習センター等に変更することが可能です。（「学生生活の栞」p.65、pp.69～70をご確認ください。）

◆受験場所の変更申請方法

- 1) システムWAKABAで変更手続き
「教務情報→変更・異動手続→単位認定試験受験場所変更」
- 2) 単位認定試験受験場所変更願（「学生生活の栞」巻末様式15）

◆受付期間 ※郵送提出の場合は期限内必着

- ・2024年度第2学期の単位認定試験から変更する場合
2024年10月1日（火）～11月24日（日）
- ・2025年度第1学期の科目登録から変更する場合
2025年1月28日（火）～2月4日（火）

《単位認定試験を学習センターで受験する場合の注意事項》

- ◆学習センター等で受験する場合でも、原則として「問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。
- ◆12月から2025年1月にかけて学習センターで行う操作体験会（下記参照）に、ご参加ください。

2024年度 第2学期 Web単位認定試験体験会について

2024年度第2学期単位認定試験については、Web受験方式（一部科目については郵送受験方式）にて実施するに伴い、実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、試験期間前までに、必ずWeb単位認定試験体験版を操作しておく必要があります。パソコン操作が不安または、困難な方を対象に奈良学習センターにおいて体験版の操作を行っていただき、操作方法を習得していただくための体験会を開催します。受験当日のサポート等はできませんので、パソコン操作に不安のある方はご予約の上、必ずご参加ください。枠に限りがありますので、お一人様1回の参加をお願いします。

体験会の所要時間は、お一人20分程度で受付順に時間の指定をしています。

予約申し込みは、12月1日（日）から開始します。奈良学習センター事務室窓口もしくは、電話でお願いします。（電話：0742-20-7870）

※体験会の予定開始時間になりましたら操作説明を開始しますので、予約された日時・会場へ時間厳守でお越しください。

開催日	時間	会場	締切日
12月25日（水）	14：00～16：00	視聴学習・図書室	12月17日（火）
12月26日（木）			12月17日（火）
1月11日（土）			1月7日（火）
1月12日（日）			1月7日（火）

Web単位認定試験システム利用方法<体験版>

Let's try

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、2024年度第2学期単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。



在学生 (WAKABA) をクリック



放送大学TOPページ

《ログインID》

ご自身の学生番号 (ハイフンを除いた10桁の数字)

《パスワード》 *入学時は、生年月日の8桁
ID・パスワードは半角で!

パスワードは必ず変更してください。
パスワードを忘れた場合や初期パスワードから一定期間たっても変更されていない学生の方は、ロックアウトされ、システムにログインできません。再入学の学生であっても、過去にパスワード変更を行っていないと、ログインできない場合があります。

その際には、奈良学習センターまでご連絡ください。



Web単位認定試験<体験版> 操作のながれ

① 科目選択

- * 「科目一覧」から「Web単位認定試験体験版」をクリック。
- * 「私を受講登録する」をクリック (初回のみ)。

② 受験開始

- * 「単位認定試験(練習用)」から「択一式」「記述式」「併用式」を選択します。受験予定の科目と同じ出題形式のものを選んで練習してください。
- * 注意事項を確認のうえ、「受験を開始する」をクリック。
- * 受験を開始すると制限時間タイマーのカウントダウンが始まり、受験を中段しても止まりません。

③ 解答作成

- * 「択一式」…問題文の下に解答選択肢が表示されています。正解だと思う選択肢をクリック。
- * 「記述式」…問題文の下に解答入力欄が表示されています。文字入力により解答を作成します。

④ 保存・確認

- * 解答の作成が終わったら、受験画面の最下部にある「解答を保存して確認画面へ進む」をクリックして解答内容を保存し、確認画面で解答状況を確認します。
- * 解答を修正する場合は、「受験画面に戻る」をクリックして受験画面に戻ります。

⑤ 解答提出

- * 「解答を送信して受験を終了する」をクリックして、解答を提出します。
- * 受験直前の画面に戻り、「あなたの前回の受験概要」に「送信完了」と送信日時が表示されていれば、提出完了です。
- * 体験版は何度でも解答を提出できますが、本番の単位認定試験は一度しか提出できませんので、ご注意ください。

学内リンク

- 放送授業
 - > 放送授業のインターネット配信
 - > 印刷教材試し読み
 - > Web通信指導
 - > Web単位認定試験
 - > 過去の単位認定試験問題・解答等
- オンライン・面接授業等

詳細な操作方法は
Web単位認定試験体験版画面
左側のリンク集
◎操作ガイド (必読)
・よくある質問
を確認してください。

2025年度 第1学期 科目登録について

2025年3月末日で学籍が切れる方

大学本部より送付される「継続入学用出願票」、またはシステムWAKABAより、出願・科目登録の手続きを行ってください。

出願期間

*第1回募集 … 2024年11月26日(火)
～ 2025年 2月28日(金)

*第2回募集 … 2025年 3月 1日(土)
～ 2024年 3月11日(火)

※面接授業の科目登録も併せて出願される場合は、右記の科目登録申請期間中に、システムWAKABA⇒教務情報⇒継続入学申請 から同時に申請してください。

2025年4月以降も学籍が続く方

提出期間

早めに
登録を

*インターネット申請 (システムWAKABA)
2025年 2月13日(木) 9:00
～ 2月28日(金) 24:00

*郵送申請

大学本部より送付される「科目登録申請票」により、次学期に履修しようとする授業科目を申請してください。

2025年 2月13日(木)
～ 2月27日(木) <私書箱必着>

※詳細は科目登録申請要項でご確認ください。



「継続入学用出願票」と「科目登録申請票」は提出期間が異なりますのでご注意ください。

2025年度第1学期以降在籍期間のある方で、単位認定試験の結果 卒業見込の方

成績判定発表後、円滑に手続きができるよう、下記の2つの方法について確認しておいてください。

① 卒業とならない場合に備えての科目登録

卒業とならない場合に備えて2025年度第1学期の科目登録を行う場合は、本学から送付する「科目登録申請票」により所定の期間内に申請してください。

再試験のみ受験される方は、科目登録は必要ありません。

② 卒業となった場合の再入学のための出願

大学本部より「再入学案内文書」が送付されますのでお読みいただき、再入学を希望される方は、同封されている申請書で期間内に出願してください。

※卒業となった場合の再入学は、自動的に3年次編入となります。



両方提出した方は、該当するほうのみが有効となります。

除籍について <教養学部 全科履修生>

次のいずれかの事由に該当するときは、自動的に除籍となりますのでご注意ください。

①在学年限を超えたとき。

②休学期間を除き、学費納入がない期間が4学期続くとき。

※詳細については、修業年限及び在学年限(学生生活の葉 p.48)を参照してください。

ご不明な点やご質問等ございましたら、事務室までお問合せください。



各種手続き等について

◆ 学生証の交付について

(※参照 『学生生活の葉』 学部pp.18~20、大学院pp.24~28)

学生証は、顔写真をシステムWAKABAに登録された後、所属学習センターにおいて、交付を受けてください。

入学（新規・継続・再入学）された方

入学後、本部から届いた「入学許可書」を所属学習センターに持参して、学生証の交付を受けてください。



有効期限切れ学生証をお持ちの方

期限切れで学籍が継続している場合（休学中を含む）は、期限切れの学生証を所属学習センターへ持参し、新学生証と交換してください。

◆ 学割証発行について

(※参照 『学生生活の葉』 学部pp.122~124、大学院pp.115~117)

旅客運賃の割引制度は、修学上の経済的な負担を軽減し、学校教育の振興に寄与するために設けられている制度です。全科履修生・修士全科生・博士全科生の方は、自宅から学習センター（面接授業会場）に通学する場合、大学が主催する学校行事（本部卒業式）への参加等に、近鉄とJRの学生旅客運賃割引（学割）を利用することができます。（奈良交通バスは利用不可）

JRは、片道100kmを超える場合の普通乗車券および片道区間200km以内の一般普通回数乗車券を2割引で購入できます。

※ただし、普通乗車券の学割発行には、面接授業決定通知書等の確認書類の写しが必要です。



◆ 各種証明書の発行について

(※参照 『学生生活の葉』 学部pp.97~99、大学院pp.93~95)

在学証明書、成績・単位修得証明書等の交付は事務室窓口で行っています。学生証が必要ですので携行してください。証明書の種類によっては2週間程度かかるものもありますので、ご注意ください。証明書の発行手数料は1通につき200円です。

◆ 住所変更について

(※参照 『学生生活の葉』 学部p.84、大学院p.81、p.86)

現住所および連絡先電話番号に変更があったときは、速やかにシステムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」から申請するか、「住所等変更届」（『学生生活の葉』巻末 学部生：様式4、大学院生：様式3）を下記の宛先まで提出してください。

あわせて現住所の変更は、「e 転居」にてネット申込するか、郵便局に「転居届」を提出してください。

※市町村の合併により市町村名が変更した場合にも提出してください。

- ◆学部生：奈良学習センター
- ◆修士全科生・博士全科生：大学本部 教務課 大学院研究指導係
- ◆修士選科生・修士科目生：大学本部 学生課 入学・履修係

※必要に応じて「所属学習センター変更願」（学部p.83、大学院p.81、p.85）の手続きも行ってください。

◆ 所属学習センターの変更について

(※参照 『学生生活の葉』 学部p.83、大学院p.81、p.85)

所属学習センターの変更を希望するときは、下記の期日までに「所属学習センター変更願」(『学生生活の葉』巻末 学部生：様式2、大学院生：様式1)を提出するか、システムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」から変更してください。

変更希望先の学習センター等の審査のうえ、変更を認めます。

なお、次学期に学籍がない方、学期を遡っての変更および学期途中からの変更はできません。

2025年度 第1学期からの変更

2024年10月20日(日) 9:00 ~ 2025年2月8日(土) 24:00 必着

◆ 特別警報等による臨時閉所について

奈良学習センターでは、奈良県北西部に**特別警報**または**暴風警報**が発令された場合は下記のとおり対応を行います。

- ①警報発令時は、閉所
- ②午前8時までに解除された場合は、平常どおり開所
- ③午前10時までに解除された場合は、11時から開所
- ④正午までに解除された場合は、13時から開所
- ⑤正午を過ぎても解除されない場合は、終日閉所



★単位認定試験中は、上記①～⑤を原則とし、大学本部と協議のうえに対応を決定し、奈良学習センターウェブサイト等により周知します。

★その他不測の事態については、センター所長の判断により対応を決定し、ウェブサイト等により周知します。

◆ 奈良学習センター駐車場について

奈良学習センターに駐車場はありません。また、奈良女子大学敷地内は、放送大学の学生は**駐車禁止**です。

※来所の際は、公共交通機関をご利用ください。

駐車  **禁止**

◆ 交流スペースの利用について

交流スペースは奈良女子大学のスペースです。放送大学学生の利用時間は、9時30分から17時50分までです。(ただし、面接授業を受講される方は、当日朝9時30分前でも利用可とします。)

自習や長時間の利用は禁止です。自習は視聴学習・図書室で行い、ラーニング・commonsも活用してください。

食事ができる時間は15時までです。

奈良学習センターの閉所日は利用禁止です。

公開講演会のお知らせ

放送大学奈良学習センターでは、以下のとおり公開講演会を実施します。
公開講演会は一般の方にも多数参加していただきたいので、学生のみなさまのお友だち、ご家族、ご親戚、ご近所やお知り合いの方を誘ってご参加ください。



公開講演会 『東大寺大仏さまに学ぶSDGs達成の条件』

日時：2025年2月15日（土）13:30～15:00（開場13:00）

講師：放送大学奈良学習センター客員教授／奈良教育大学教授

中澤 静男（教育学 ESD、SDGs）

会場：奈良女子大学記念館 定員：150人 参加費：無料

申込方法：ウェブサイトのみで受付（12月中旬頃受付開始予定）

奈良学習センターウェブサイトからお申込みください。

※電話・メール・FAXでのお申込みはご遠慮ください。

先着順に受け付け、定員に達し次第終了します。



研究成果発表会のお知らせ

2024年度卒業研究の研究成果発表会を下記のとおり予定しております。
卒業研究への取組方と研究の実例を知る良い機会となりますので、ぜひ聴講にお越しください。
詳細については決まり次第、奈良学習センターのウェブサイトでお知らせします。

日時：2025年2月22日（土） 13:30～

場所：奈良学習センター Z308講義室

他大学等図書館利用カードの受取について

9月24日～10月6日の間に、奈良女子大学学術情報センター・奈良教育大学・奈良佐保短期大学の付属図書館の利用申請をされた方は、『利用カード』が出来上がっていますので、必ず受取に来てください。

今学期中に受取に来られない場合は、『利用カード』を破棄しますので、ご注意ください。
学習センターまで受取に来られない場合は、返送用のレターパックもしくはレターパックライト（宛先の住所、氏名等を必ずご記入ください）を奈良学習センターまでお送りいただけましたら、返送いたします。郵便料金は今年10月から改訂していますので、ご注意ください。

視聴学習・図書室からのお知らせ



視聴学習・図書室の利用について

- ・袋物（カバン等）の持込みを禁止していますので、入室の際はロッカーを使用し、入口横にあるビニールバッグを貴重品・筆記用具入れとしてご利用ください。貴重品は必ず身につけてください。携帯電話は、必ずマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。ビニールバッグは使用后、元の場所へ返却してください。
- ・入室の際は必ず学生証を受付に預けてください。
- ・ヘッドホン、イヤホンはご持参ください。貸出はおこなっていません。
- ・飲食物の持込みは、ご遠慮ください。※飲食は交流スペースにてお願いします。



利用時間について

放送教材の視聴、図書の貸出・返却等すべての手続きを利用時間終了10分前まで終わってください。

受付	曜日	利用時間
通常期間	火曜日～日曜日	9:30～17:30 (12時～13時の間、受付業務は中止させていただきます。)



放送大学附属図書館所蔵図書の貸出について

OPAC蔵書検索システムから本部図書の取寄せ、貸出ができます。

なお、奈良学習センター所蔵図書の貸出はしていませんが、図書室内での閲覧は可能です。

貸出数	学部	10冊以内	
	大学院	修士	20冊以内
		博士	30冊以内
貸出期間	31日間		



雑誌の貸出について

奈良学習センターでは、雑誌の貸出を始めました。貸出できる雑誌は、雑誌を配架している書棚の裏側に入っているものとなります。付録は貸出できません。貸出期間は14日間、貸出冊数は3冊までです。

返却が3日以上遅れた場合は、遅れた日数だけ貸出停止となります。貸出希望の際は、職員までお尋ねください。

視聴学習・図書室の閉室のお知らせ

注意

2024年度第2学期 単位認定試験のため、視聴学習・図書室を閉室します。

2025年1月19日（日）～1月27日（月）

キャンパス・スケジュール

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 面接授業
8 面接授業	9 閉所日	10	11	12	13	14 面接授業
15 面接授業	16 閉所日	17	18	19	20	21 面接授業
22 面接授業	23 閉所日	24	25	26	27	28 閉所日
29 閉所日	30 閉所日	31 閉所日				

※11月からの継続のスケジュール
2025年度第1学期入学願書受付
第1回受付：11月26日～2月28日
第2回受付：3月1日～3月11日

28日～31日：年末閉所日

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1 閉所日	2 閉所日	3 閉所日	4 閉所日
5 閉所日	6 閉所日	7	8	9	10	11 面接授業
12 面接授業	13 閉所日	14	15	16	17	18 面接授業
19 面接授業	20 閉所日	21	22	23	24	25
26	27 閉所日	28	29	30	31	

1日～6日：年始閉所日
13日：成人の日（閉所日）
19日～23日：単位認定試験（Web試験記述式・併用式科目、郵送試験）
19日～27日：単位認定試験（Web試験択一式科目）

19日～27日：視聴学習・図書室閉室

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 閉所日	4	5	6	7	8
9	10 閉所日	11 閉所日	12	13	14	15 公開講演会
16	17 閉所日	18	19	20	21	22 研究成果発表会
23 閉所日	24 閉所日	25	26	27	28	

11日：建国記念日（閉所日）
13日：第1学期 科目登録申請受付開始
Web ~28日 24：00
郵送 ~27日 必着
※詳細は科目登録申請要項でご確認ください。
15日：公開講演会
「東大寺大仏さまに学ぶSDGs達成の条件」
講師：中澤 静男 先生
申し込み：12月中旬頃開始予定
22日：研究成果発表会
23日：天皇誕生日（閉所日）

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 閉所日	4	5	6	7	8 公開講演会
9	10 閉所日	11	12	13	14	15
16	17 閉所日	18	19	20 閉所日	21	22
23 卒業式・入学者の集い	24 閉所日	25	26	27	28	29
30	31 閉所日					

8日：公開講演会
「生活シーンと視覚特性を考慮した日・年・周期での動的な光環境の最適化システムの究明（仮）」
講師：井上 容子 所長
20日：春分の日（閉所日）
23日：第2学期 卒業証書・学位記授与式
第1学期 入学者の集い
視聴学習・図書室 閉室

スケジュールは、変更になることがありますので、奈良学習センターのウェブサイトですぐご確認ください。

機関誌「芳藻」の由来

センター機関誌「芳藻」の名称は、奈良にふさわしいものとして、万葉集から選んだものです。

「芳藻」は、万葉集巻五に「跪きて封函を開き拝みて芳藻を讀む」とあります。遙か離れた故郷からの便りをありがたく拝んで読んでいたことを述べており、芳藻は便りを表しています。

放送大学の「ほうそう」にも通じており、センターと学生を結び絆としての役目も果たしてくれるものとして、名付けられたものであります。